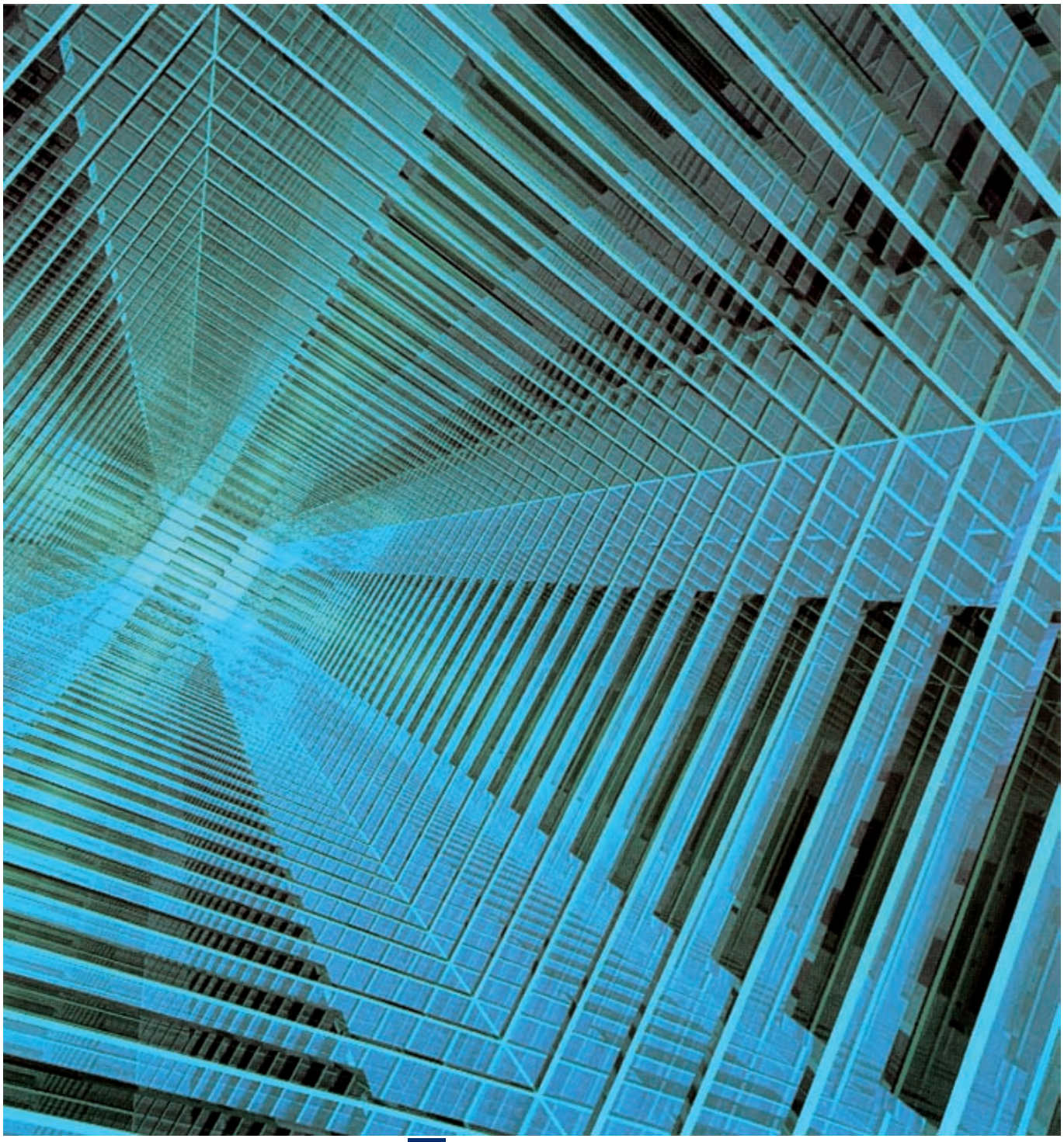
高層鉄鋼構築物用塗料

グラファイトペイント

GRAPHITE-PAINT



ALESCO 関西ペイント

現代超高層建築の特殊鋼材に優れた耐候性と安定性。グラファイトペイント

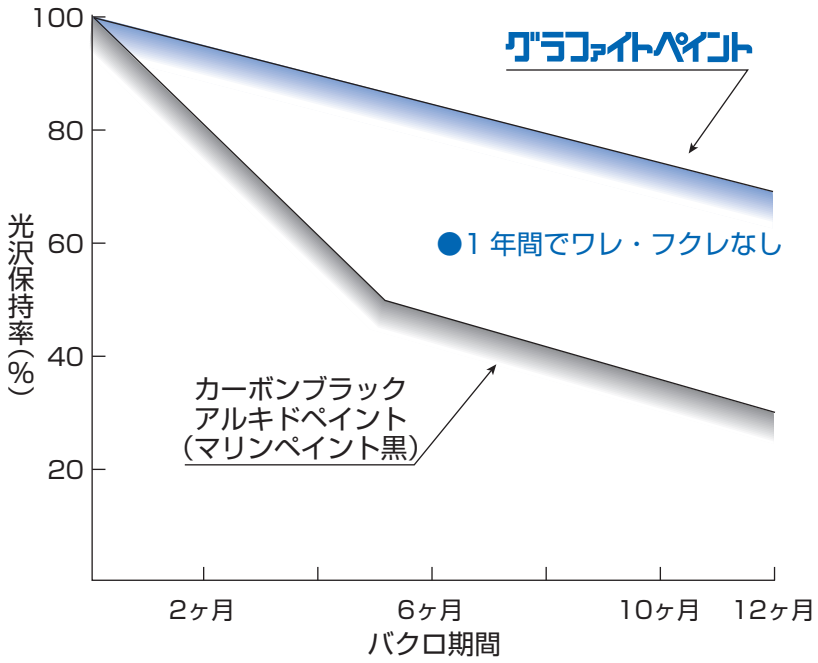
グラファイトペイントは、厳選された高純度鱗片状グラファイトと、
これに最も適正のある合成樹脂ワニスを配合した高性能建築仕上げ用塗料です。

グラファイトペイントの特長

①グラファイト独特の優雅な風格のある仕上りが得られます。
②変色・褪色がなく、初期の外観が長く保持できます。
③大気中の塗膜物性変化が少ない。
④耐候性に優れており、ほとんど白亜化を起こさず、長期間にわたり、変色、褪色がありません。
⑤大気の汚れた都市環境でも塗膜は安定しています。

試験成績

■耐候性



■一般性状

状　態	一液既調合
密　度	1.07
指触乾燥 (23℃)	3 時間
半硬化乾燥 (23℃)	10 時間

品名・容量

■グラファイト A
製品コード No.:136 - ×××
容量 :18kg

グラファイトペイント
GRAPHITE-PAINT

施工上のポイント

①グラファイトは、できるだけスプレーで塗装することをおすすめします。
ハケ、ローラーで塗装した場合、仕上りが悪くなることがあります。

②シンナーの希釈について
後記の標準塗装仕様ではスプレー塗りの場合の希釈率を示しています。
グラファイトは 1 回目の塗装の際、希釈率は 0～5%､2 回目の場合は 20～30%が最適です。

③塗り替え塗装は、それぞれ仕様の下塗りの工程から施工すれば、そのまま適用できます。

用　途

カーテンウォールパネル・サッシ・スパンドレル・鉄骨フレーム・ルーバー・面格子・パラペットなど。

No.1　No.2　No.6

注 1) グラファイトは天然に産出される物を使用しますので、原料ロットにより若干色合いが異なる場合があります。
注 2) グラファイト塗装直後はツヤが残りますが、塗装後 1 週間程度で見本のツヤ程度に安定します。

グラファイトペイント
GRAPHITE-PAINT

標準塗装仕様

■鉄部（新設）

工　程		塗料・処置	塗装回数	塗装間隔（23℃）	標準所要量（kg/m²/回）
1	素地調整	ブラスト処理もしくは酸洗いにより黒皮を完全に除去する。			
2	表面処理プライマー	メタラクトH15※ 100 メタラクトシンナー 10~30	1	4時間以上 3ヶ月以内	0.11～0.13
3	下　塗	ザウルスEX Ⅱ 100 塗料用シンナーA 0~10	2	各回 4時間以上 7日以内	各回 0.13～0.17
4	上　塗	グラファイトA 100 塗料用シンナーA 1回目 0~5 2回目 20~30	2	各回 16時間以上 7日以内	各回 0.12～0.14

※はセット形塗料です。

■鉄部（塗替）

工　程		塗料・処置	塗装回数	塗装間隔（23℃）	標準所要量（kg/m²/回）
1	素地調整	電動工具、手工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、浮き錆は入念にケレンし、除去する。油脂、汚れなどは、ワイヤーブラシ、サンドペーパーなどで除去し、清浄な面とする。			
2	下　塗	ザウルスEX Ⅱ 100 塗料用シンナーA 0~10	2	各回 4時間以上 7日以内	各回 0.13～0.17
3	上　塗	グラファイトA 100 塗料用シンナーA 1回目 0~5 2回目 20~30	2	各回 16時間以上 7日以内	各回 0.12～0.14

注1）この仕様は、現地ですべて塗装する場合に適しています。
注2）下塗りにラスゴンセーフティ（K）も使用できます。

■亜鉛メッキ面

工　程		塗料・処置	塗装回数	塗装間隔（23℃）	標準所要量（kg/m²/回）
1	素地調整	全面清掃、脱脂、目荒しを行い、被塗面を清浄にする。白さびなどはワイヤーブラシ・サンドペーパーなどで除去する。			
2	下　塗	スーパーザウルスⅡ※（ベース/硬化剤 9/1） 100 塗料用シンナーA 0~10	1	4時間以上 7日以内	0.14～0.17
3	上　塗	グラファイトA 100 塗料用シンナーA 1回目 0~5 2回目 20~30	2	各回 16時間以上 7日以内	各回 0.12～0.14

※はセット形塗料です。

ご使用上の注意事項

■下記の注意事項を守って下さい。
■詳細な内容については安全データシート（SDS）をご参照下さい。

予防策

●取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具（帽子・保護めがね・マスク・手袋等）を着用し、身体に付着しないようにすること。
●吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
●皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。
●火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
●火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
●裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
●本来の目的以外に使用しないこと。
●指定材料以外のものとは混合（多液品の混合・希釈等）しないこと。
●缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
●取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
●使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
●本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

対　応

●目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
●漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。
●火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

保　管

●指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
●直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
●子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

廃　棄

●本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。）

施工後の安全

●本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

本　社　TEL(03)5711-8904　FAX(03)5711-8934
北海道　TEL(0133)64-2424　FAX(0133)64-5757
東　北　TEL(022)287-2721　FAX(022)288-7073
北関東信越　TEL(028)637-8200　FAX(028)637-8223
東　京　TEL(03)5711-8905　FAX(03)5711-8935
中　部　TEL(052)262-0921　FAX(052)262-0981
大　阪　TEL(06)6203-5701　FAX(06)6203-5603
中　国　TEL(082)262-7101　FAX(082)264-3285
四　国　TEL(0877)24-5484　FAX(0877)24-4950
九　州　TEL(092)411-9901　FAX(092)441-3339

ご用命は

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

（16年04月55刷PPO）カタログNo.206